

◇—————◇
公益社団法人 日本航空機操縦士協会
メールマガジン Vol.127 2023/11/15
◇—————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—————★

- [1]【三役コラム】舞いあがれ
- [2]【VOICES FEEDBACK】
 - <①Spot In 直前に無人トーイングトラクターが接近>
 - <②VLE への意図しない接近計器訓練で>
- [3]【お知らせ】JAPA E-Journal の公開
- [4]【お知らせ】セミナー・イベント
- [5]【新発売】JAPA SHOP よりご案内
- [6]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★—————★

- [1]【三役コラム】舞いあがれ
副会長 田中 康浩

★—————★

会員の皆様、平素は協会活動にご理解、ご協力を頂きまして
誠にありがとうございます。

NHK の朝の連続ドラマ「舞いあがれ」でも出てきました「空
飛ぶ車」は、これからの移動手段や物流の手段として日本で
も開発や飛行試験が実施されているようです。

JAPA の HP に、NEW に以下の情報が掲載されています。

【航空局からの依頼 周知事項】

「小型無人航空機 飛行情報」について

そらいいな株式会社による「小型無人航空機 目視外飛行」に関する飛行情報。日本航空株式会社による「小型無人航空機 目視外飛行」に関する飛行情報。

アメリカでは、

ボーイング傘下の「空飛ぶタクシー」がLAで初飛行、プロペラ12基で機敏に垂直離陸ボーイング子会社の米ウィスク・エアロが、「空飛ぶタクシー(EV飛行タクシー)」の公開デモ飛行に、ロサンゼルス地域として初めて成功した。VTOL関連のニュースを報じるエレクトリック・VTOL・ニュースによると、同機はパイロットなしの自律飛行を行い、最大乗客は2名。巡航速度は約180km/hで、航続距離は100km、飛行時間は19分(ほか予備電力10分相当)となっている。というニュースもありました。

無人航空機の時代がすぐそこまで来ているようです。

PILOTも搭乗して操縦するのではなく、地上で操作することになるのでしょうか?若しくはコンピューターが操縦することになるのでしょうか?

旅客機はまだまだ PILOT の搭乗が必要ですが、近い将来の PILOT 不足が心配されています。

PILOT を目指す人が増えることを願っていますが、どのような手段があるのか、工夫があるのか、日々JAPAとしても様々な取り組みを行っているところです。

私自身、航空物の TV ドラマを見て夢を膨らませました。しかし、最近では、テレビドラマで航空関係の物が少ないような気がします。ドラマを見て PILOT になりたいと思う若者も多いのではないのでしょうか?

今後に期待したいと思います。



[2]【VOICES FEEDBACK】

<①Spot In 直前に無人トーイングトラクターが接近>

<②VLE への意図しない接近計器訓練で>



<①Spot In 直前に無人トーイングトラクターが接近>

伊丹着陸後、PM/PF 共に Spot In までの経路を確認し、無人トーイングトラクターを視認しました。無人トーイングトラクターがスポットの導入線に近づいているものの、ATC から情報もなく、止まるだろうと考えていました。しかし、無人トーイングトラクターの操作者はこちらを見ることもなく、速度も一定で止まる気配がなかったため、速度を落として Taxi をし、急停止にならないようにしました。ATC に状況を確認すると同時に、Spot 担当の地上担当者が、他社の当該無人トーイングトラクター操作者に対して、Spot 導入線から下がるようにジェスチャーを送ってくれました(good)。その後急停止に至らず、安全に Spot In することができました。到着後、当該無人トーイングトラクター担当より謝罪があった旨地上担当者から報告を受けました。このことから学んだことは、Ramp での車、無人トーイングトラクター、人など予期せぬ障害物に備えて、急停止に至らない速度が重要だと感じたと共に、2 人で状況を認識し共有しながら Taxi することの重要性を痛感しました。また、スポットイン時に、よく周りをモニターし、無人トーイングトラクター担当者に合図を送り、危険を回避してくれた地上担当者に助けられました。

👉 VOICES コメント

無人トーイングトラクターでは、操作者の視点が、実際のトーイングトラクターから見える視点ではないということが新たな問題点となりそうですね。新しい機材の導入後のリスクレビューを行う必要があるかもしれませんね。

<②VLE への意図しない接近計器訓練で >

VLE への意図しない接近計器訓練で空港に帰投中、計器進入のための Radar Vector が開始されるとともに降下が

指示された。訓練生の Intention により Gear Down Descent を実施すべく、140KIAS を確認し Gear Down 操作を了承した(VLO 注):152KIAS)。教官として、Radar Vector の Pattern や残距離、降下が間に合うか否かを考えていたところ、後席から「Airspeed」という Assertion があった(good)。速度計を見ると 149KIAS (VLE 注)も同じく 152KIAS であるため、VLE の 3kt 手前)まで増速していることに気が付いた。通常 Gear Down Descent の場合、Rough Air であっても VLE を超過しないよう、140KIAS を基準として運航しているため、10kt 近く Deviation していることに気が付かなかった。当日は幸い Smooth Air であった。Monitoring という PM として重要な業務ができていなかったと反省するとともに、後席からの Assertion がなければ VLE を超過していたかもしれない。
注) VLO:ランディングギアの上げ下げ操作ができる最大速度、VLE:ランディングギアを下ろしたまま飛行できる最大速度

☞ VOICES コメント

後席の訓練生がためらわず、積極的にモニターを行い、必要な Assertion を行った好事例ですね。



[3]【お知らせ】JAPA E-Journal の公開



E-Journal を公開致しました。
ぜひご覧ください。

《ATS 委員会》

・【JAPA E-Journal 2023-012】
ATC 再発見 Vol.042【RECEARED VIA による経路変更】

《運航技術委員会》

・【JAPA E-Journal 2023-013】

ATC 再発見 Vol.042 あなたならどうしますか？

<https://www.japa.or.jp/e-journal>

★

[4]【お知らせ】セミナー・イベント

★

《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

11月18日 大阪開催

12月02日 沖縄開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

《航空気象シンポジウム》

11月18日 東京/オンライン開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=7>

《航空安全講習会》

12月02日 大阪開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

12月02日 東京開催(AOPA 主催)

※お問合せ・お申し込みは AOPA まで

<https://aopa.jp/contact.html>

《RNAV 講演会》

12月10日 東京/オンライン開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=2>

《第19回 TEM/CRM セミナー》

12月12日 東京開催【前半】

12月13日 東京開催【後半】

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

《冬休み子ども航空教室・操縦体験》

12月16日 日本航空機操縦士協会 会議室開催

12月26日 日本航空機操縦士協会 会議室開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=11>

《セミナー・講習会受講に際しての注意事項》

JAPA が主催するセミナー・講習会等のイベント開催につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため、ご参加のみなさまへの注意事項や連絡事項を取り決め、当該運用手順に従い遂行してまいりました。

この度、厚生労働省ならびに東京都福祉保健局によって示された「2023年3月13日以降のマスク着用の考え方」に従い、今後、同年4月1日以降に開催されるセミナー・講習会へのご参加にあたりましては、改めて下記内容をご確認いただきますようお願い申し上げます。

<https://www.japa.or.jp/wp-content/uploads/2023/04/japa20230401.pdf>

尚、その他のセミナー・イベント情報に関しましては随時ホームページ及びメールマガジン等でご案内致しますので、少々お待ちくださいますようお願い申し上げます。

★

【5】【新発売】JAPA SHOP よりご案内

★

【新発売】

・パイロット手帳 2024 年版

ご注文については以下 JAPA SHOP をご覧ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>

★

[6]【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について



JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険(ロスオブライセンス)へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページよりご覧ください。

オンライン入会を導入いたしましたので JAPA ホームページからすぐに入会手続き可能です。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

★次回の配信は 12 月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
